

## 新得発電所建設に伴う水力発電産業遺産設置事業

### 1. 補助事業の目的

新得発電所建設工事に関する地域の理解・協力を得る観点から、同工事に伴い撤去される上岩松発電所（1号）の水車ランナを産業遺産として展示・保存し、地域共生の促進と、発電所建設工事の理解促進を図ることを目的とする。

### 2. 補助事業の概要

#### (1) 事業者名

北海道電力株式会社

#### (2) 事業期間

令和3年7月14日 ～ 令和4年1月28日

#### (3) 対象地域

北海道上川郡新得町

#### (4) 対象地域の状況

新得町は、北海道十勝管内に位置し、日高山脈、大雪山系の山々からなる森林が町域の90%を占める「林業の町」である。また、その山々からの水系を活用した7つの水力発電所（出力合計135,270kW）が所在する「電源の町」である。

新得発電所の水系・十勝川は、同町の大雪山連峰十勝岳に源を発し、十勝管内帯広市等を経過し太平洋に注ぐ流路延長156kmの一級河川である。十勝川流域には、多くの温泉地、整備された公園・運動場があり、北海道最大級の花火大会や、十勝ダムを始めとする多くのダム湖が演出する雄大な四季の景観が、温泉地と共に地域の活性化と北海道観光の一翼を担う重要な資源となっている。

#### (5) 対象発電所

水系・河川名	十勝川水系・十勝川
発電所名	新得発電所
事業者	北海道電力株式会社
出力	23,100kW

### 3. これまでの取り組み状況と課題

新得発電所建設計画の推進にあたっては、環境影響評価手続き等の機会も活用し、地元自治体、自治会等への説明を重ねて理解を得ており、平成31年4月以降、順調に工事を進めている。一方、新得発電所周辺は自然環境が豊かな地域であり、その保全に対しても高い関心が寄せられていることから、着工以降も地域の理解を着実に得ながら工事を進めることが重要である。

こうした中、町議会や地域住民からは、長きに亘って地域が発電事業を支えた証しとして後世に遺すとともに、当該施設を観光資源として活用するため、新得発電所の新設に伴い撤去される上岩松発電所（1号）の一部を産業遺産として展示・保存するよう求められた。

このため、「令和2年度水力発電の導入促進のための事業費補助金（地域理解促進等関連事業）」の助成を受けて水車ランナ設置地点の検討を実施し、新得町役場庁舎の構内を適地と評価した。また、役場庁舎構内への設置について、新得町および関係先から賛同を得てきており、その実現に期待が高まっていた。

### 4. 実施概要

新得発電所建設工事に伴い撤去された上岩松発電所（1号）の水車ランナをモニュメント化し、産業遺産として新得町役場構内に展示・保存した。



### 5. 得られた効果

地元紙や新得町広報誌において歓迎的に報じられる等、地域の理解促進が図られ、新得発電所建設工事の円滑化に資する効果が得られた。

本件の取り組みに当たっては、産業遺産としての意匠、展示場所周辺との調和、歴史の伝え方等について、役場関係者との調整を重ねてきており、水力発電と地域との共生をモニュメントおよび銘板サインに反映することができた。今後、観光資源として活用され、地域との共生を象徴するものとして後世に受け継がれることで、将来に亘って理解促進が図られることが期待できる。